



# I 自然と人口

項 目	データ	全国順位
<b>(面積)</b>		
面積(北方地域、竹島及び尖閣諸島を含む)	3,797.75km <sup>2</sup>	39
1km <sup>2</sup> 当たり人口密度	1,913.4人	4
可住地面積割合	68.1%	3
自然公園面積	124,582ha	15
林野面積割合	31.9%	44
<b>(気象)</b>		
年平均気温	16.1℃	28
年間降水量	1,460.5mm	29
年間日照時間	2,143.4時間	8
<b>(人口・世帯)</b>		
人口	7,266,534人	5
男	3,628,418人	5
女	3,638,116人	5
年少人口割合(15歳未満)	12.6%	24
生産年齢人口割合(15～64歳)	62.5%	4
老年人口割合(65歳以上)	24.8%	42
一般世帯数	2,967,928世帯	5
核家族世帯割合(一般世帯)	61.3%	2
高齢単身世帯割合(一般世帯)	9.3%	41
<b>(年齢)</b>		
平均年齢	45.4歳	42
平均寿命(男)	80.82年	22
平均寿命(女)	86.66年	39
年齢100歳以上の人口	2,216人	9
<b>(人口変動)</b>		
昼間人口	6,456,452人	5
昼夜間人口比率	88.9	47
他都道府県からの転入者数	193,481人	3
他都道府県への転出者数	166,827人	4
出生数	48,298人	5
合計特殊出生率	1.27	43
死亡数	69,537人	5
<b>(婚姻・離婚)</b>		
婚姻率(人口千対)	4.7	8
離婚率(人口千対)	1.68	16
平均初婚年齢(夫)	31.7歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.7歳	4

# 1 面積

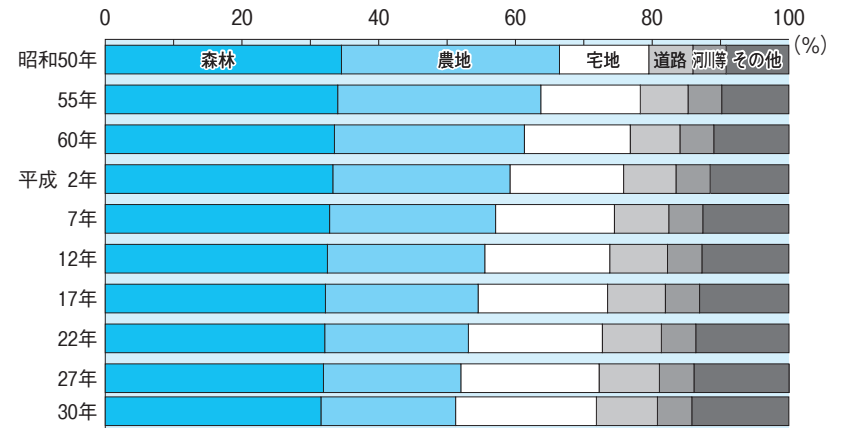
単位	*1 面積 (北方地域、竹島及び尖閣諸島を含む)		*2 1km <sup>2</sup> あたり人口密度		*3 人口集中地区面積割合		*4 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
	全 国	377,970.75		340.8		3.38		32.9
北海道	83,424.31	1	68.6	47	0.95	43	28.5	30
青森県	9,645.59	8	135.6	41	1.66	33	33.5	22
岩手県	15,275.01	2	83.8	46	0.57	47	24.3	39
宮城県	7,282.22	16	320.5	19	3.53	16	43.3	14
秋田県	11,637.54	6	87.9	45	0.74	45	27.5	33
山形県	9,323.15	9	120.5	42	1.25	41	30.9	27
福島県	13,783.74	3	138.9	40	1.34	38	30.6	28
茨城県	6,097.06	24	478.4	12	4.03	13	65.2	4
栃木県	6,408.09	20	308.1	22	3.00	20	46.5	12
群馬県	6,362.28	21	310.1	21	3.13	19	35.8	19
埼玉県	3,797.75	39	1,913.4	4	18.23	4	68.1	3
千葉県	5,157.65	28	1,206.5	6	12.49	6	68.9	2
東京都	2,190.93	45	6,168.7	1	49.39	1	64.8	5
神奈川県	2,415.83	43	3,777.7	3	39.19	3	60.9	6
新潟県	12,584.10	5	183.1	34	1.85	31	36.0	18
富山県	4,247.61	33	251.0	25	2.45	26	43.4	13
石川県	4,186.09	35	275.7	23	2.61	25	33.2	23
福井県	4,190.49	34	187.7	31	1.99	29	25.7	35
山梨県	4,465.27	32	187.0	32	1.28	40	21.4	44
長野県	13,561.56	4	154.8	38	1.24	42	23.8	41
岐阜県	10,621.29	7	191.3	30	1.65	34	20.8	45
静岡県	7,777.42	13	475.8	13	5.46	11	35.4	21
愛知県	5,172.48	27	1,446.7	5	18.02	5	57.8	7
三重県	5,774.40	25	314.5	20	3.28	18	35.7	20
滋賀県	4,017.38	38	351.7	15	2.83	23	32.5	25
京都府	4,612.19	31	566.0	10	5.71	10	25.5	37
大阪府	1,905.14	46	4,639.8	2	47.58	2	69.8	1
兵庫県	8,400.96	12	658.8	8	6.95	8	33.1	24
奈良県	3,690.94	40	369.6	14	3.80	14	23.2	43
和歌山県	4,724.69	30	203.9	29	1.82	32	23.6	42
鳥取県	3,507.05	41	163.5	37	1.41	36	25.7	35
島根県	6,708.24	19	103.5	43	0.58	46	19.4	46
岡山県	7,114.50	17	270.1	24	2.84	22	31.2	26
広島県	8,479.45	11	335.4	17	3.57	15	27.3	34
山口県	6,112.30	23	229.8	28	3.44	17	27.9	32
徳島県	4,146.65	36	182.3	35	1.33	39	24.4	38
香川県	1,876.72	47	520.2	11	4.09	12	53.6	10
愛媛県	5,676.11	26	244.1	26	2.69	24	29.5	29
高知県	7,103.93	18	102.5	44	0.76	44	16.4	47
福岡県	4,986.40	29	1,023.1	7	11.36	7	55.4	8
佐賀県	2,440.68	42	341.2	16	2.33	27	54.7	9
長崎県	4,132.09	37	333.3	18	2.93	21	40.5	15
熊本県	7,409.35	15	241.1	27	2.11	28	37.7	16
大分県	6,340.71	22	183.9	33	1.86	30	28.4	31
宮崎県	7,735.31	14	142.7	39	1.43	35	23.9	40
鹿児島県	9,186.94	10	179.4	36	1.35	37	36.1	17
沖縄県	2,281.12	44	628.4	9	5.88	9	51.3	11

資料出所  
\*1 ~ \*3 「国勢調査」総務省統計局  
\*4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間  
平成27年10月1日  
平成30年10月1日

調査周期  
5年  
毎年

# 利用形態別土地面積構成比



注)1 平成17年以降の森林は、推計面積による構成比。  
2 その他は、原野・採草放牧地面積を含む構成比。  
資料:「埼玉の土地」県土地水政策課

## 面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

平成27年10月1日現在の本県の面積は3,797.75km<sup>2</sup>で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

面積1km<sup>2</sup>あたりの人口密度は1,913.4人で、全国第4位でした。

また、県内の全ての市と9の町に設定されている人口集中地区が面積に占める割合は18.23%で、全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成30年10月1日現在の面積に占める可住地面積の割合は、全国(32.9%)を大幅に上回る68.1%で、全国第3位でした。

人口集中地区面積割合 = 人口集中地区面積 ÷ 面積 × 100

可住地面積割合 = 可住地面積 ÷ 北方地域及び竹島を除いた面積 × 100

## ～「人口集中地区」、「可住地面積」とは～

### ○人口集中地区

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区及び調査区を基礎単位として、  
①人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村境界内で互いに隣接し、  
②それらの隣接地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する当該地域、としています。  
昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の一つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。

### ○可住地面積

「可住地面積」は、総面積(北方地域及び竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積です。



おしえてコバトン

## 2 自然・地形

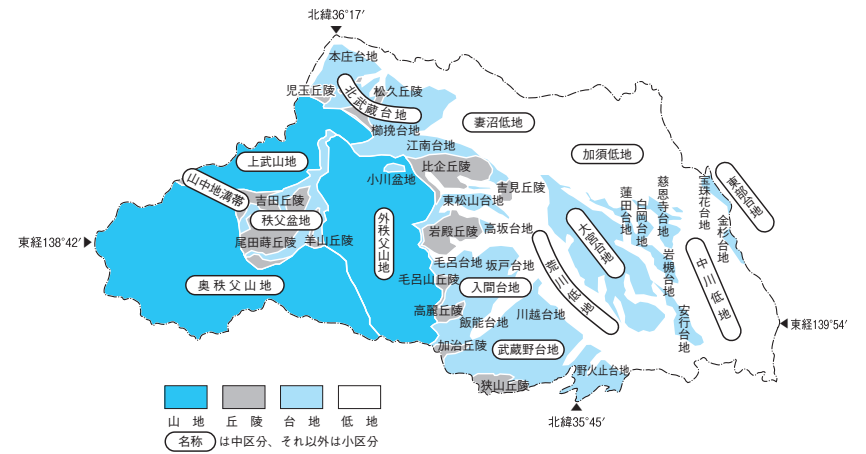
## 埼玉県の地形

単位	*1 自然公園面積		*2 自然公園面積割合		*3 林野面積割合		*4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	%	順位	%	順位	km	順位
全 国	5,587,886		14.8		66.5		88,100.7	
北 海 道	868,790	1	10.4	39	70.6	18	10,182.4	1
青 森 県	114,187	19	11.8	32	65.1	25	1,083.2	34
岩 手 県	72,061	31	4.7	46	75.7	9	2,142.2	14
宮 城 県	171,201	8	23.5	10	56.4	34	2,118.4	15
秋 田 県	123,801	17	10.6	37	71.8	16	2,734.0	8
山 形 県	155,510	11	16.7	22	69.1	20	2,931.1	6
福 島 県	179,081	6	13.0	28	68.5	22	3,438.6	4
茨 城 県	90,896	22	14.9	23	31.2	45	1,892.9	20
栃 木 県	133,443	13	20.8	13	53.3	35	2,732.2	9
群 馬 県	88,864	24	14.0	26	64.1	27	2,904.5	7
埼 玉 県	124,582	15	32.8	5	31.9	44	1,656.9	25
千 葉 県	28,537	44	5.5	45	30.8	46	512.6	41
東 京 都	79,889	29	36.4	2	35.3	43	734.6	38
神 奈 川 県	55,138	35	22.8	11	38.8	42	332.9	42
新 潟 県	316,891	2	25.2	9	63.9	28	3,602.9	3
富 山 県	125,554	14	29.6	6	56.6	33	1,171.2	32
石 川 県	52,564	36	12.6	30	66.6	24	316.9	43
福 井 県	61,912	33	14.8	24	74.0	12	1,100.1	33
山 梨 県	121,207	18	27.1	8	78.2	4	2,055.6	17
長 野 県	277,922	3	20.5	15	76.1	7	5,070.4	2
岐 阜 県	195,093	5	18.4	17	79.2	2	3,262.7	5
静 岡 県	84,045	26	10.8	36	63.7	30	1,627.1	27
愛 知 県	88,881	23	17.2	20	42.2	41	1,393.1	30
三 重 県	208,394	4	36.1	3	64.3	26	1,751.4	22
滋 賀 県	149,957	12	37.3	1	50.7	36	2,315.7	12
京 都 府	94,896	20	20.6	14	74.3	11	1,631.5	26
大 阪 府	20,039	47	10.5	38	30.2	47	668.9	39
兵 庫 県	166,081	9	19.8	16	66.9	23	1,768.5	21
奈 良 県	63,328	32	17.2	21	76.8	5	1,674.8	24
和 歌 山 県	59,743	34	12.6	29	76.4	6	602.0	40
鳥 取 県	49,061	37	14.0	25	73.8	13	1,034.2	36
根 拠 県	40,496	41	6.0	44	78.3	3	2,288.6	13
岡 山 県	80,664	28	11.3	33	68.8	21	2,543.3	10
広 島 県	37,857	43	4.5	47	72.7	14	2,418.7	11
山 口 県	42,971	39	7.0	42	72.1	15	215.7	44
徳 島 県	38,706	42	9.3	40	75.6	10	1,518.4	28
香 川 県	20,534	46	10.9	35	46.4	38	87.2	46
愛 媛 県	41,121	40	7.2	41	70.5	19	1,944.3	18
高 知 県	47,504	38	6.7	43	83.6	1	1,927.6	19
福 岡 県	88,101	25	17.7	19	44.6	40	1,302.8	31
佐 賀 県	26,884	45	11.0	34	45.3	39	1,076.4	35
長 崎 県	74,091	30	17.9	18	59.4	32	136.3	45
熊 本 県	155,636	10	21.0	12	62.3	31	1,734.5	23
分 岐 県	174,391	7	27.5	7	71.6	17	2,076.8	16
大 宮 県	91,919	21	11.9	31	76.1	7	1,508.5	29
鹿 児 島 県	123,905	16	13.5	27	63.8	29	878.1	37
沖 縄 県	81,558	27	35.8	4	48.7	37	-	-

資料出所  
\*1,2 環境省  
\*3 「農林業センサス」農林水産省  
\*4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省

調査時点又は期間  
令和2年3月31日  
平成27年2月1日  
平成31年4月30日

調査周期  
毎年  
5年  
毎年



資料：「埼玉県の地形区分と名称図」1975 村本達郎氏による  
「都道府県及び市区町村の東西南北端点の経度緯度」国土地理院

### 県土の約3分の1が自然公園

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地勢は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

環境省によると、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所が指定されており、その総面積(124,582ha)が県土に占める割合は32.8%で、全国第5位でした。

「農林業センサス」によると、林野面積は121,311haで、県土に占める割合は31.9%でした。

### 県内の一級河川延長は1,656.9km

「一級河川の河川延長等調」によると、県内の一級河川延長(指定区間外含む)は1,656.9kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

### ～「甲武信」がユネスコエコパークに登録～

#### ◆ 甲武信ユネスコエコパークエリア ◆



令和元年6月に、「甲武信」が国内10番目のユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に登録されました。ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を図るため、ユネスコが国際的に認定した地域のことです。

「甲武信ユネスコエコパーク」は、甲武信ヶ岳をはじめとする奥秩父主稜を中心とした山脈地域で、県内では「秩父市」と「小鹿野町」が含まれています。面積は190,603haで、南アルプス、祖母・傾・大崩、白山に次ぐ4番目の広さです。

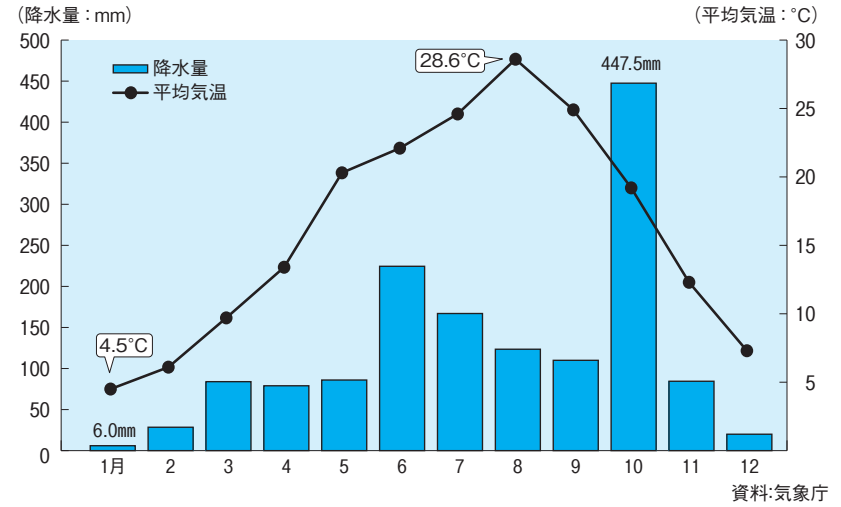


# 3 気象

単位	*1		*2		*3		*4	
	年平均気温		年間降水量		年間日照時間		年間降水日数 (降水量≥1.0mm)	
	°C	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...		...		...		...	
北海道	9.8	47	814.0	47	1,987.7	24	131	10
青森県	11.4	45	1,093.0	42	1,877.4	38	140	8
岩手県	11.3	46	1,029.5	43	1,882.9	37	107	31
宮城県	13.6	41	1,389.5	34	2,056.0	19	97	39
秋田県	12.9	42	1,566.5	22	1,833.7	39	151	5
山形県	12.8	44	1,261.5	37	1,789.8	42	131	10
福島県	14.0	40	1,462.5	28	1,926.8	33	109	27
茨城県	14.9	37	1,391.0	33	2,088.6	15	102	35
栃木県	14.9	37	1,867.5	13	1,948.1	32	120	16
群馬県	15.7	34	1,447.5	30	2,190.9	4	103	34
埼玉県	16.1	28	1,460.5	29	2,143.4	8	98	38
千葉県	16.7	24	2,160.5	6	2,068.1	17	124	15
東京都	16.5	25	1,874.0	12	1,909.0	34	111	21
神奈川県	16.9	21	1,937.0	11	2,020.7	23	111	21
新潟県	14.6	39	1,352.0	36	1,832.6	40	153	4
富山県	15.2	36	2,097.5	7	1,738.3	45	166	2
石川県	15.8	32	2,009.5	10	1,895.6	35	158	3
福井県	15.6	35	1,851.5	14	1,777.1	44	172	1
山梨県	15.9	30	1,168.0	40	2,216.1	1	95	40
長野県	12.9	42	1,006.0	44	1,976.8	27	111	21
岐阜県	17.0	19	1,798.0	15	2,195.9	3	108	30
静岡県	17.8	6	2,390.5	5	2,119.3	11	118	17
愛知県	17.0	19	1,555.5	23	2,208.7	2	109	27
三重県	16.9	21	1,630.0	18	2,110.7	13	109	27
滋賀県	15.8	32	1,398.5	32	1,960.7	30	125	13
京都府	16.9	21	1,407.5	31	1,817.3	41	111	21
大阪府	17.6	11	1,219.0	38	2,101.2	14	92	42
兵庫県	17.7	8	1,177.5	39	2,143.6	7	91	44
奈良県	16.3	27	1,482.5	27	1,886.8	36	111	21
和歌山県	17.4	13	1,625.5	19	2,177.6	5	88	45
鳥取県	16.0	29	1,536.5	25	1,723.4	46	151	5
島根県	15.9	30	1,490.5	26	1,784.9	43	150	7
岡山県	16.5	25	921.5	46	2,065.7	18	78	47
広島県	17.2	18	1,381.5	35	2,133.8	10	80	46
山口県	17.6	11	1,607.0	21	1,974.7	28	101	36
徳島県	17.4	13	1,543.0	24	2,146.2	6	95	40
香川県	17.3	17	927.5	45	2,115.8	12	92	42
愛媛県	17.4	13	1,144.5	41	2,047.0	20	101	36
高知県	17.8	6	2,538.5	3	2,134.7	9	117	18
福岡県	17.9	4	1,608.5	20	1,982.0	25	110	26
佐賀県	17.7	8	2,078.5	8	2,041.9	22	106	33
長崎県	17.9	4	1,788.0	16	1,959.3	31	113	19
熊本県	17.7	8	2,026.5	9	2,070.0	16	113	19
大分県	17.4	13	1,753.0	17	1,980.1	26	107	31
宮崎県	18.4	3	3,045.5	1	2,045.0	21	129	12
鹿児島県	19.4	2	2,470.0	4	1,971.2	29	125	13
沖縄県	23.9	1	2,637.5	2	1,665.6	47	135	9

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
\*1～4 気象庁 令和元年 毎年

# 月別降水量・平均気温(令和元年・熊谷)



## 夏は高温、冬は乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。

地域別に気温の特徴をみると、南部は冬においても県内では暖かく、北部は夏と冬の気温が高い地域となっており、平成30年の夏(7月23日)には熊谷で国内最高気温41.1℃を観測しました。(令和2年8月17日に静岡県の浜松で、同じ気温が観測されました。)一方、秩父地方は気温が低い地域で、盆地では冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

## 年間降水量は前年の約1.4倍

気象庁によると、令和元年の熊谷の年平均気温は前年より0.3℃低く、平年値より1.1℃高い16.1℃でした。最高気温は38.4℃(8月6日)、最低気温は-4.3℃(1月10日)でした。

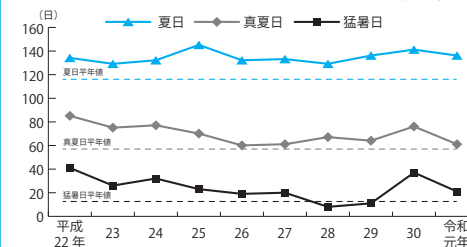
年間降水量は前年より404.5mm、平年値より174.2mmそれぞれ多い1,460.5mmで、1日の最大降水量は、250.0mm(10月12日)でした。

また、年間日照時間は前年より164.9時間少ない2,143.4時間で、年間降水日数(降水量≥1.0mm)は前年より12日多い98日でした。

平年値 昭和56年～平成22年の30年間の累年平均値

※表\*1～4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点のものですが、埼玉県(熊谷)、千葉県(銚子)、滋賀県(彦根)、山口県(下関)は地方気象台のある括弧内の市の値としました。

## ～夏日、真夏日及び猛暑日日数の推移(熊谷)～



直近10年間の日数の推移をみると、「夏日」と「真夏日」は、ともに全ての年で平年値(夏日117.2日、真夏日56.7日)を上回っています。「猛暑日」は平成28年と29年を除いて平年値(13.9日)を上回っています。

熊谷地方気象台では「真夏日」と「猛暑日」の長期変化について、いずれも増加傾向がみられると分析しています。

注) 1「夏日」日最高気温が25℃以上の日  
2「真夏日」日最高気温が30℃以上の日  
3「猛暑日」日最高気温が35℃以上の日 資料：気象庁



おしえてコバトン



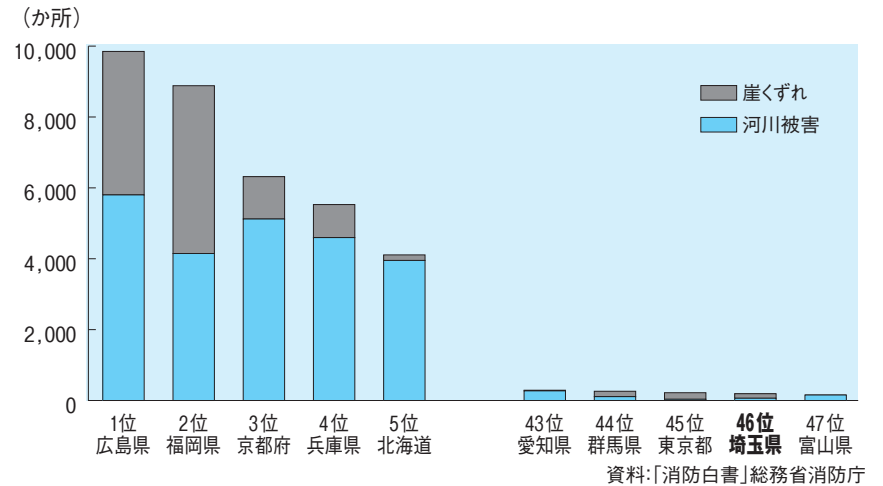
# 4 自然災害

単位	*1 自然災害による被害総額		*2 河川被害発生か所数		*3 崖くずれ発生か所数		*4 震度1以上地震観測回数	
	百万円	順位	か所	順位	か所	順位	回	順位
全 国	1,171,860		13,031		4,652		1,564	
北海道	162,863	2	495	7	1	24	195	2
青森県	869	44	1	39	-	29	121	9
岩手県	3,675	36	115	21	-	29	192	3
宮城県	884	43	6	36	-	29	178	4
秋田県	10,891	21	115	21	1	24	41	25
山形県	18,435	14	404	10	14	13	64	20
福島県	454	45	16	35	-	29	170	5
茨城県	1,149	42	-	40	3	21	199	1
栃木県	1,368	41	-	40	8	18	114	10
群馬県	2,175	40	3	38	-	29	74	17
埼玉県	129	46	-	40	-	29	83	14
千葉県	3,254	37	-	40	-	29	148	8
東京都	47	47	-	40	-	29	107	11
神奈川県	2,287	39	-	40	14	13	77	16
新潟県	5,412	29	45	28	-	29	97	12
富山県	4,435	33	33	33	-	29	7	46
石川県	7,635	24	175	19	-	29	15	41
福井県	4,042	34	43	29	2	22	9	45
山梨県	5,483	28	38	30	-	29	47	23
長野県	14,736	18	76	26	-	29	90	13
岐阜県	26,580	9	422	9	9	16	57	21
静岡県	10,526	22	36	31	9	16	72	18
愛知県	7,124	26	-	40	-	29	29	30
三重県	5,401	30	89	24	1	24	7	46
滋賀県	5,392	31	-	40	5	20	16	38
京都府	42,703	6	1,344	2	318	5	24	31
大阪府	2,357	38	30	34	26	10	16	38
兵庫県	40,429	7	785	5	257	6	17	37
奈良県	17,449	15	112	23	73	7	11	44
和歌山県	24,262	10	266	14	-	29	51	22
鳥取県	19,485	13	322	12	-	29	21	35
島根県	9,626	23	189	18	-	29	23	32
岡山県	144,050	3	1,213	3	6	19	14	42
広島県	240,830	1	2,823	1	1,971	1	31	28
山口県	22,924	12	451	8	335	4	23	32
徳島県	7,343	25	78	25	1	24	16	38
香川県	3,925	35	35	32	44	8	12	43
愛媛県	121,012	4	1,112	4	446	3	39	26
高知県	50,822	5	644	6	-	29	36	27
福岡県	27,121	8	376	11	1,016	2	30	29
佐賀県	16,721	17	206	17	-	29	21	35
長崎県	6,328	27	50	27	25	11	23	32
熊本県	12,303	19	279	13	14	13	151	7
大分県	11,548	20	212	16	2	22	45	24
宮崎県	23,790	11	249	15	1	24	72	18
鹿児島県	17,047	16	139	20	34	9	160	6
沖縄県	4,538	32	4	37	16	12	78	15

資料出所 \*1～3 「消防白書」総務省消防庁 \*4 「地震・火山月報(防災編)」気象庁

調査時点又は期間 平成30年 令和元年 調査周期 毎年 毎年

# 河川・崖くずれ被害発生か所数(平成21～30年の累計)



## 全国2番目に少ない自然災害被害総額

「消防白書」によると、平成30年の自然災害による被害総額は、前年より8億9,613万円少ない1億2,947万円と、東京都(4,743万円)に次いで少ない額でした。平成29年は河川被害が12か所、崖くずれの被害が23か所発生しましたが、平成30年は共に発生しませんでした。

また、直近10年間(平成21～30年)に発生した河川・崖くずれ被害の累計か所数では、全国最少の富山県(155か所)に次いで192か所と少なくなっています。

## 県内の最大震度は震度4

「地震・火山月報(防災編)」によると、令和元年に国内で被害を伴った地震は6回で、死者・行方不明者を伴った地震はありませんでした。本県の観測点での震度1以上の地震は83回あり、そのうち最大震度は震度4で、観測回数は1回でした。

また、気象庁によると、令和元年に発生した台風は29個(平年値25.6個)で、そのうち日本に上陸した台風は5個(平年値2.7個)でした。本県では8月に台風第10号、9月に台風第15号による大雨があり、10月には台風第19号(令和元年東日本台風)による記録的な大雨がありました。

## ～令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)～

### ◆人的被害と住家被害の状況◆ (令和2年12月1日現在)

人的被害	死者	4人
	負傷者	33人
住家被害	全壊	107棟
	半壊	570棟
	一部破損	1,021棟
	床上浸水	2,088棟
	床下浸水	3,371棟

「埼玉県の気象概況」によると、令和元年10月6日に発生した台風第19号(後に「令和元年東日本台風」と命名)は、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、夜遅くには埼玉県南部を通過し、13日未明に福島県沖に達しました。

県内では12日から13日にかけて大雨や強風となり、特に12日は記録的な大雨となりました。この影響で、洪水害、浸水害、強風害、山がけ崩れ害等が県内各地で発生しました。

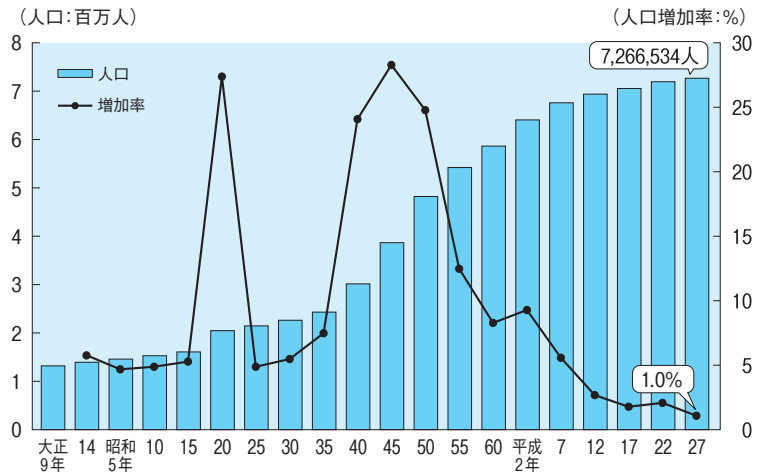


# 5 総人口

単位	*1 人口		*2 男		*3 女		*4 外国人	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	127,094,745		61,841,738		65,253,007		1,752,368	
北海道	5,381,733	8	2,537,089	8	2,844,644	8	21,676	18
青森県	1,308,265	31	614,694	32	693,571	31	3,447	44
岩手県	1,279,594	32	615,584	31	664,010	32	5,017	39
宮城県	2,333,899	14	1,140,167	14	1,193,732	14	13,989	21
秋田県	1,023,119	38	480,336	38	542,783	38	2,914	47
山形県	1,123,891	35	540,226	35	583,665	36	5,503	37
福島県	1,914,039	21	945,660	20	968,379	21	8,725	30
茨城県	2,916,976	11	1,453,594	11	1,463,382	12	41,310	11
栃木県	1,974,255	18	981,626	18	992,629	20	26,494	17
群馬県	1,973,115	19	973,283	19	999,832	18	37,126	12
埼玉県	7,266,534	5	3,628,418	5	3,638,116	5	105,203	5
千葉県	6,222,666	6	3,095,860	6	3,126,806	6	90,178	6
東京都	13,515,271	1	6,666,690	1	6,848,581	1	378,564	1
神奈川県	9,126,214	2	4,558,978	2	4,567,236	3	144,500	4
新潟県	2,304,264	15	1,115,413	15	1,188,851	15	11,567	22
富山県	1,066,328	37	515,147	37	551,181	37	10,768	26
石川県	1,154,008	34	558,589	33	595,419	34	9,308	28
福井県	786,740	43	381,474	43	405,266	43	9,448	27
山梨県	834,930	41	408,327	41	426,603	42	11,115	24
長野県	2,098,804	16	1,022,129	16	1,076,675	16	26,640	16
岐阜県	2,031,903	17	983,850	17	1,048,053	17	35,382	13
静岡県	3,700,305	10	1,820,993	10	1,879,312	10	59,596	8
愛知県	7,483,128	4	3,740,844	4	3,742,284	4	166,150	2
三重県	1,815,865	22	883,516	22	932,349	23	31,333	15
滋賀県	1,412,916	26	696,941	26	715,975	30	19,886	19
京都府	2,610,353	13	1,248,972	13	1,361,381	13	43,949	10
大阪府	8,839,469	3	4,256,049	3	4,583,420	2	150,890	3
兵庫県	5,534,800	7	2,641,561	7	2,893,239	7	77,518	7
奈良県	1,364,316	30	643,946	30	720,370	29	8,726	29
和歌山県	963,579	40	453,216	40	510,363	39	4,667	40
鳥取県	573,441	47	273,705	47	299,736	47	3,384	45
島根県	694,352	46	333,112	46	361,240	46	5,371	38
岡山県	1,921,525	20	922,226	21	999,299	19	17,309	20
広島県	2,843,990	12	1,376,211	12	1,467,779	11	34,854	14
山口県	1,404,729	27	665,008	27	739,721	25	11,512	23
徳島県	755,733	44	359,790	44	395,943	44	3,871	42
香川県	976,263	39	472,308	39	503,955	40	6,928	35
愛媛県	1,385,262	28	654,380	28	730,882	27	8,096	33
高知県	728,276	45	342,672	45	385,604	45	3,236	46
福岡県	5,101,556	9	2,410,418	9	2,691,138	9	47,097	9
佐賀県	832,832	42	393,073	42	439,759	41	3,878	41
長崎県	1,377,187	29	645,763	29	731,424	26	7,669	34
熊本県	1,786,170	23	841,046	23	945,124	22	8,358	32
大分県	1,166,338	33	551,932	34	614,406	33	8,656	31
宮崎県	1,104,069	36	519,242	36	584,827	35	3,693	43
鹿児島県	1,648,177	24	773,061	24	875,116	24	5,847	36
沖縄県	1,433,566	25	704,619	25	728,947	28	11,020	25

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1 ~ 4 「国勢調査」総務省統計局 平成27年10月1日 5年

# 人口と人口増加率の推移(各年10月1日現在)



## 人口増加率は調査開始以来、最低の1.0%

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の人口は、前回調査(平成22年)より71,978人増加し、7,266,534人(男性3,628,418人、女性3,638,116人)で全国第5位でした。大正9年の調査開始以来、本県の人口は増加が続いていますが、増加率は過去最低の1.0%でした。

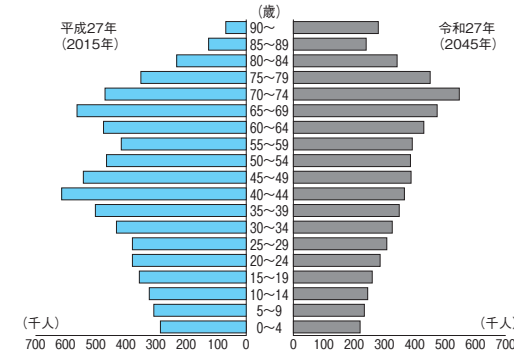
男女別にみると、男性人口が女性人口を上回っている都道府県はなく、女性100人に対する男性の数を表す人口性比では、愛知県の99.96、神奈川県99.82に次いで、本県は99.73で全国第3位でした。

## 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は105,203人で、前回調査に比べて16,469人(18.6%)増加しました。この結果、本県の人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.22ポイント上昇して1.45%でした。

※表\*4の数値は、無国籍及び国名「不詳」を含みます。

## ～埼玉県の将来推計人口～



埼玉県の将来推計人口を年齢階級別にグラフで表しました。推計の基となった平成27年(2015年)の人口は727万人ですが、30年後の令和27年(2045年)には652万人に減少が予想されています。また、若い世代の人口が減少する一方、高齢者人口の増加が予想されています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」国立社会保障・人口問題研究所

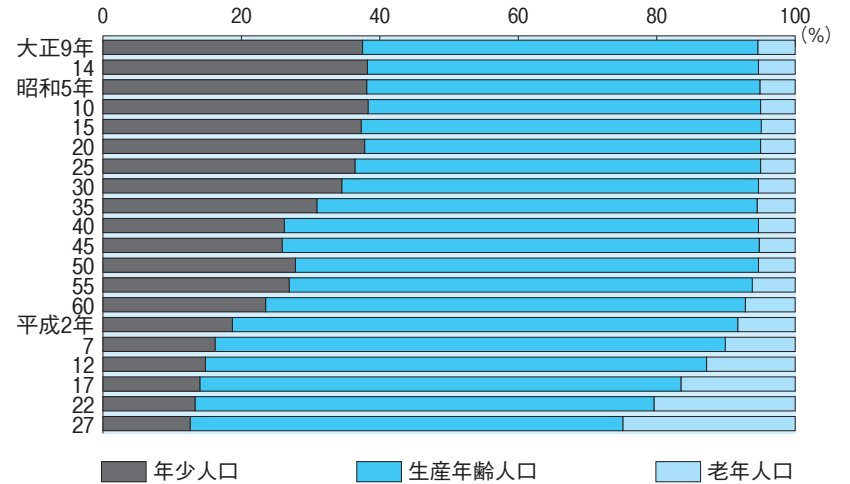


# 6 人口(年齢3区分別)

単位	*1 年少人口割合 (15歳未満)		*2 生産年齢人口割合 (15～64歳)		*3 老年人口割合 (65歳以上)		*4 75歳以上人口割合	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	12.6		60.7		26.6		12.8	
北海道	11.4	46	59.6	16	29.1	20	14.3	25
青森県	11.4	45	58.4	25	30.1	12	15.4	18
岩手県	11.9	41	57.8	30	30.4	11	16.3	5
宮城県	12.5	29	61.7	6	25.7	41	12.9	34
秋田県	10.5	47	55.7	45	33.8	1	18.4	1
山形県	12.1	38	57.1	37	30.8	7	16.9	4
福島県	12.1	39	59.2	17	28.7	23	15.0	20
茨城県	12.6	25	60.6	12	26.8	36	12.5	38
栃木県	12.9	20	61.3	10	25.9	39	12.2	39
群馬県	12.8	21	59.6	15	27.6	32	13.2	32
埼玉県	12.6	24	62.5	4	24.8	42	10.6	46
千葉県	12.4	31	61.7	7	25.9	40	11.4	41
東京都	11.5	44	65.9	1	22.7	46	10.8	44
神奈川県	12.6	26	63.5	2	23.9	44	10.9	43
新潟県	12.0	40	58.1	28	29.9	15	15.7	12
富山県	12.2	35	57.3	36	30.5	9	15.0	19
石川県	13.0	13	59.1	22	27.9	29	13.3	31
福井県	13.3	10	58.1	29	28.6	25	14.7	22
山梨県	12.4	33	59.2	18	28.4	26	14.5	24
長野県	13.0	17	57.0	39	30.1	13	15.7	11
岐阜県	13.2	11	58.7	24	28.1	27	13.6	28
静岡県	13.0	14	59.2	19	27.8	30	13.4	29
愛知県	13.8	4	62.4	5	23.8	45	10.8	45
三重県	13.0	15	59.1	21	27.9	28	13.7	27
滋賀県	14.5	2	61.3	8	24.2	43	11.3	42
京都府	12.3	34	60.2	13	27.5	34	12.9	35
大阪府	12.5	28	61.3	9	26.1	37	11.8	40
兵庫県	12.9	19	60.0	14	27.1	35	12.7	36
奈良県	12.5	30	58.8	23	28.7	22	13.3	30
和歌山県	12.1	37	57.0	40	30.9	6	15.5	15
鳥取県	12.9	18	57.3	34	29.7	16	15.8	9
島根県	12.6	27	55.0	47	32.5	3	17.7	2
岡山県	13.1	12	58.2	27	28.7	24	14.3	26
広島県	13.4	9	59.1	20	27.5	33	13.2	33
山口県	12.2	36	55.7	44	32.1	4	16.2	6
徳島県	11.7	42	57.4	33	31.0	5	16.0	8
香川県	12.8	22	57.3	35	29.9	14	15.0	21
愛媛県	12.4	32	57.0	41	30.6	8	15.6	13
高知県	11.6	43	55.5	46	32.8	2	17.2	3
福岡県	13.4	8	60.7	11	25.9	38	12.5	37
佐賀県	14.0	3	58.3	26	27.7	31	14.5	23
長崎県	13.0	16	57.4	32	29.6	17	15.6	14
熊本県	13.6	6	57.6	31	28.8	21	15.4	17
大分県	12.7	23	56.9	42	30.4	10	15.7	10
宮崎県	13.7	5	56.8	43	29.5	18	15.5	16
鹿児島県	13.5	7	57.0	38	29.4	19	16.1	7
沖縄県	17.4	1	62.9	3	19.6	47	10.1	47

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1～4「国勢調査」総務省統計局 平成27年10月1日 5年

# 年齢3区分別人口構成比(各年10月1日現在)



注) 昭和20年は11月1日現在で行われた「人口調査」による人口。  
 資料:「国勢調査」総務省統計局

## 低下する年少人口割合、上昇する老年人口割合

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の人口に占める年齢3区分別の人口の割合は、年少人口割合が前回調査(平成22年)に比べ0.7ポイント低下し、大正9年の調査開始以来最も低い12.6%(910,805人)でした。

生産年齢人口割合は、前回調査に比べ3.7ポイント低下し62.5%(4,507,174人)となりましたが、東京都、神奈川県、沖縄県に次いで全国第4位の高さでした。

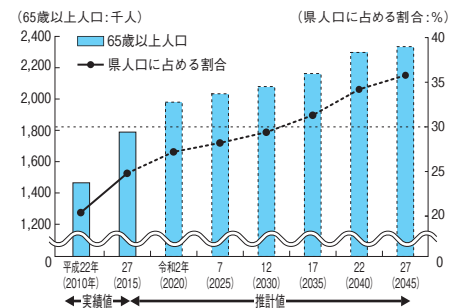
老年人口割合は、前回調査に比べ4.4ポイント上昇し、調査開始以来最も高い24.8%(1,788,735人)でした。なお、老年人口割合は全都道府県で上昇しており、25.0%未満だったのは埼玉県を含む6都県でした。

## 1割を超えた75歳以上人口の割合

人口に占める75歳以上人口の割合は、前回調査に比べ2.4ポイント上昇し、1割を超える10.6%(766,125人)となりましたが、沖縄県に次いで全国第46位と低い割合でした。一方、2.4ポイントの上昇は全国で最高でした。

※割合(構成比)の算出について、昭和15年以降(昭和20年・45年を除く)は「不詳」数を分母に含めない方法によっています。

## ～65歳以上人口の推移～



「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の65歳以上人口は1,788,735人で、前回調査(平成22年)からの増加率は全国で最も高い22.1%でした。また、全就業者に占める65歳以上就業者数の割合は11.9%で、前回調査から2.7ポイント上昇しました。

「日本の地域別将来推計人口」によると、本県の65歳以上人口は今後も増加を続け、令和17年(2035年)には県人口に占める割合が3割を超え、令和27年(2045年)には同35.8%の233万4千人を超えるものと推計されています。

資料:「国勢調査」総務省統計局、「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」国立社会保障・人口問題研究所



# 7 年 齢

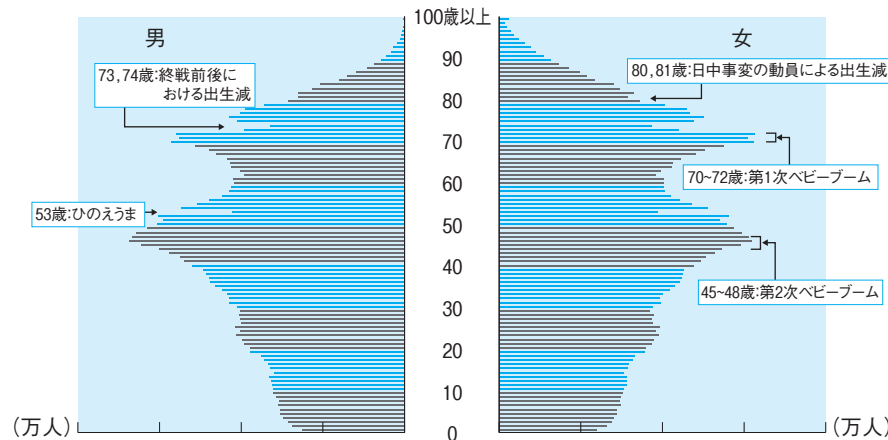
単位	*1 平均年齢		*2 平均寿命(男)		*3 平均寿命(女)		*4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	46.4		80.77		87.01		61,763	
北海道	48.3	14	80.28	35	86.77	37	2,835	4
青森県	49.0	7	78.67	47	85.93	47	539	44
岩手県	49.0	8	79.86	45	86.44	42	723	33
宮城県	46.2	38	80.99	15	87.16	20	937	24
秋田県	51.3	1	79.51	46	86.38	44	557	43
山形県	49.1	4	80.52	29	86.96	29	645	36
福島県	48.2	16	80.12	41	86.40	43	970	22
茨城県	46.7	33	80.28	34	86.33	45	1,328	16
栃木県	46.4	36	80.10	42	86.24	46	846	28
群馬県	46.9	27	80.61	28	86.84	33	1,056	19
埼玉県	45.4	42	80.82	22	86.66	39	2,216	9
千葉県	46.0	39	80.96	16	86.91	30	2,256	8
東京都	44.7	44	81.07	11	87.26	15	5,142	1
神奈川県	45.0	43	81.32	5	87.24	17	3,487	2
新潟県	48.5	11	80.69	24	87.32	11	1,551	12
富山県	48.4	12	80.61	27	87.42	8	734	31
石川県	46.7	32	81.04	12	87.28	13	674	35
福井県	47.4	24	81.27	6	87.54	5	507	45
山梨県	47.6	22	80.85	21	87.22	18	592	39
長野県	48.2	17	81.75	2	87.67	1	1,454	14
岐阜県	46.9	30	81.00	14	86.82	34	998	21
静岡県	47.0	26	80.95	17	87.10	24	1,855	10
愛知県	44.3	46	81.10	8	86.86	32	2,437	7
三重県	46.9	28	80.86	19	86.99	27	890	27
滋賀県	44.5	45	81.78	1	87.57	4	590	40
京都府	46.3	37	81.40	3	87.35	9	1,463	13
大阪府	45.8	40	80.23	38	86.73	38	3,277	3
兵庫県	46.5	35	80.92	18	87.07	25	2,601	6
奈良県	47.2	25	81.36	4	87.25	16	715	34
和歌山県	48.7	9	79.94	44	86.47	41	580	41
鳥取県	48.2	18	80.17	39	87.27	14	481	47
島根県	49.5	3	80.79	23	87.64	3	622	38
岡山県	46.9	29	81.03	13	87.67	2	1,218	18
広島県	46.5	34	81.08	9	87.33	10	1,830	11
山口県	49.0	5	80.51	30	86.88	31	1,030	20
徳島県	49.0	6	80.32	33	86.66	40	489	46
香川県	48.0	20	80.85	20	87.21	19	734	31
愛媛県	48.6	10	80.16	40	86.82	35	943	23
高知県	49.8	2	80.26	37	87.01	26	625	37
福岡県	45.7	41	80.66	25	87.14	21	2,758	5
佐賀県	46.8	31	80.65	26	87.12	23	567	42
長崎県	48.2	15	80.38	31	86.97	28	921	26
熊本県	47.5	23	81.22	7	87.49	6	1,337	15
大分県	48.3	13	81.08	10	87.31	12	749	30
宮崎県	47.9	21	80.34	32	87.12	22	787	29
鹿児島県	48.1	19	80.02	43	86.78	36	1,290	17
沖縄県	42.1	47	80.27	36	87.44	7	927	25

資料出所  
\*1,4 「国勢調査」総務省統計局  
\*2,3 「都道府県別生命表」厚生労働省

調査時点又は期間  
平成27年10月1日  
平成27年

調査周期  
5年  
5年

# 埼玉県の人口ピラミッド(令和2年1月1日現在)



資料:「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

## 全国で6番目に若い県

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在、平均年齢は45.4歳で、沖縄県、愛知県、滋賀県、東京都、神奈川県に続いて全国で6番目に若い県でした。前回調査(平成22年)では43.6歳で5番目に若い県でしたが、1.8歳上昇しました。

平均年齢 = 年齢(各歳) × 各歳別人口 ÷ 各歳別人口の合計(年齢「不詳」を除く) + 0.5

## 延びる平均寿命

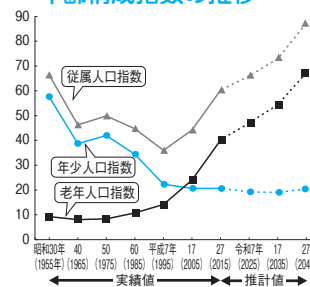
「都道府県別生命表」によると、平成27年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が80.82年、女性が86.66年で、算出を始めた昭和40年と比べ男性は13.56年、女性は14.21年延伸しています。

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は2,216人で、5年前の前回調査(平成22年)1,396人の約1.5倍、10年前の前々回調査(平成17年)749人の約3倍に増加しました。

## 40歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、令和2年1月1日現在の人口を年齢10歳階級別にみると、40歳代が1,164,518人で総数(7,389,961人)の15.8%を占め最も多く、次いで50歳代が980,632人で同13.3%、70歳代が939,489人で同12.7%と続いています。

## ～年齢構成指数の推移～



働き手である生産年齢人口100人が年少者や高齢者を何人支えているのかを表す指標に「年少人口指数」「老年人口指数」があります。年少人口指数は全体として低下を続け、平成27年は20.2となりました。老年人口指数は昭和50年から上昇を続け、平成27年には39.7に達しました。両者を合わせた「従属人口指数」は平成7年以降上昇に転じ、平成27年は59.9まで上昇しました。

「日本の地域別将来推計人口」によると、老年人口指数と従属人口指数は今後も上昇、年少人口指数は横ばい傾向で推移すると見込まれています。

注) 年少人口指数 = 15歳未満人口 ÷ 15～64歳人口 × 100  
老年人口指数 = 65歳以上人口 ÷ 15～64歳人口 × 100  
従属人口指数 = (15歳未満人口 + 65歳以上人口) ÷ 15～64歳人口 × 100

資料: 「国勢調査」総務省統計局  
「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」国立社会保障・人口問題研究所



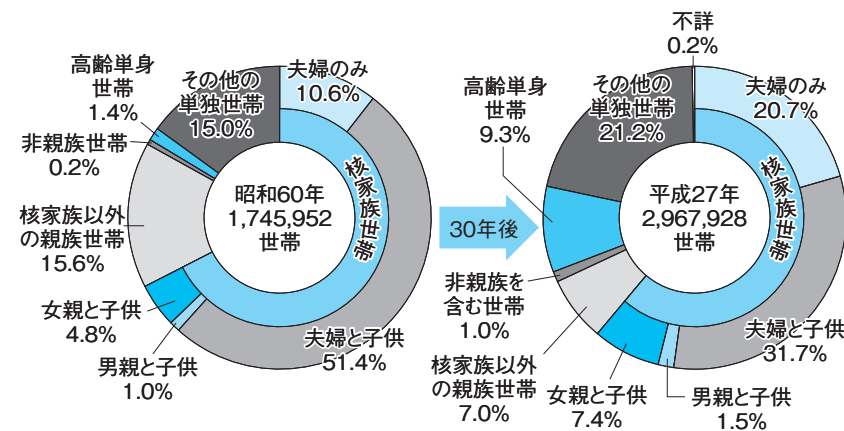


# 8 世帯

# 家族類型別一般世帯構成比の変化

単位	*1 一般世帯数		*2 一世帯当たり人員 (一般世帯)		*3 核家族世帯割合 (一般世帯)		*4 高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
	全 国	53,331,797		2.33		55.8		11.1
北海道	2,438,206	7	2.13	46	55.9	28	13.1	9
青森県	509,241	31	2.48	20	53.3	37	12.1	15
岩手県	489,383	32	2.54	15	51.3	45	10.9	26
宮城県	942,569	14	2.43	25	51.3	44	9.1	45
秋田県	387,392	40	2.55	10	52.0	41	12.3	13
山形県	392,288	37	2.78	1	49.8	46	9.4	40
福島県	730,013	21	2.56	9	51.4	43	10.6	28
茨城県	1,122,443	13	2.55	12	57.4	17	8.9	46
栃木県	761,863	19	2.54	13	56.7	24	9.2	44
群馬県	772,014	17	2.50	19	59.2	6	10.3	31
埼玉県	2,967,928	5	2.41	27	61.3	2	9.3	41
千葉県	2,604,839	6	2.35	34	59.0	7	9.9	35
東京都	6,690,934	1	1.99	47	47.8	47	11.1	25
神奈川県	3,965,190	2	2.26	40	58.4	12	10.1	34
新潟県	846,485	15	2.65	5	53.0	39	9.7	39
富山県	390,313	39	2.66	4	54.9	31	10.2	32
石川県	452,355	35	2.48	21	54.9	34	10.1	33
福井県	278,990	45	2.75	2	52.7	40	9.7	37
山梨県	330,375	41	2.47	23	57.8	15	11.3	21
長野県	805,279	16	2.55	11	57.0	21	10.4	29
岐阜県	751,726	20	2.65	6	58.1	13	9.7	38
静岡県	1,427,449	10	2.54	14	56.8	23	9.8	36
愛知県	3,059,956	4	2.41	28	56.9	22	9.2	43
三重県	718,934	23	2.47	22	58.6	9	10.8	27
滋賀県	536,706	29	2.59	7	58.8	8	8.3	47
京都府	1,151,422	12	2.22	42	54.1	36	11.9	19
大阪府	3,918,441	3	2.22	43	56.1	27	13.3	7
兵庫県	2,312,284	8	2.35	33	59.3	5	12.4	12
奈良県	529,258	30	2.52	17	63.9	1	11.2	22
和歌山県	391,465	38	2.40	29	60.3	3	15.0	3
鳥取県	216,244	47	2.57	8	53.1	38	11.1	24
島根県	264,080	46	2.53	16	51.8	42	12.0	16
岡山県	771,242	18	2.43	26	55.9	29	11.2	23
広島県	1,209,288	11	2.29	37	57.5	16	11.9	17
山口県	597,426	25	2.27	39	57.9	14	14.5	4
徳島県	304,911	43	2.39	30	54.9	32	12.9	11
香川県	397,602	36	2.39	31	57.2	19	12.1	14
愛媛県	590,629	26	2.28	38	57.2	18	13.8	5
高知県	318,086	42	2.20	44	54.9	33	16.5	1
福岡県	2,196,617	9	2.26	41	54.5	35	11.8	20
佐賀県	301,009	44	2.67	3	55.8	30	10.4	30
長崎県	558,380	28	2.37	32	57.1	20	13.2	8
熊本県	702,565	24	2.46	24	56.1	26	11.9	18
大分県	485,001	33	2.32	35	56.4	25	12.9	10
宮崎県	461,389	34	2.31	36	59.3	4	13.6	6
鹿児島県	722,372	22	2.20	45	58.6	11	15.3	2
沖縄県	559,215	27	2.50	18	58.6	10	9.2	42

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1 ~ 4 「国勢調査」総務省統計局 平成27年10月1日 5年



注) 昭和60年の「非親族世帯」には、親族のみの世帯に非親族が同居する世帯は含まれていない。  
 資料: 「国勢調査」総務省統計局

### 増加する世帯数、進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、県内における平成27年10月1日現在の総世帯数は2,971,659世帯で、そのうち一般世帯数は2,967,928世帯、施設等の世帯数は3,731世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成22年)と比べると130,386世帯(4.6%)増加しました。

一般世帯の一世帯当たり人員は2.41人で、全国平均(2.33人)を上回ったものの、前回調査より0.09人減少しました。一世帯当たり人員は、前回調査と比べると全ての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

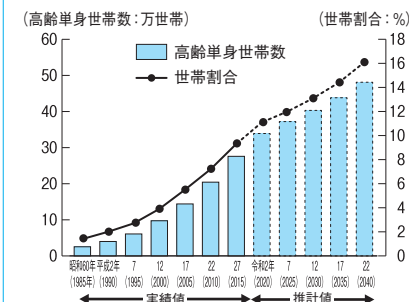
### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,820,049世帯で一般世帯の61.3%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は613,438世帯(一般世帯の20.7%)、夫婦と子供から成る世帯は940,338世帯(同31.7%)でした。

高齢単身世帯は、前回調査より71,565世帯(35.0%)増加して275,777世帯で、一般世帯に占める割合は9.3%でした。

高齢単身世帯 65歳以上の人一人のみの一般世帯。

### ～高齢単身世帯の世帯数と割合の推移～



「国勢調査」によると、県内の高齢単身世帯数は、昭和60年には25,255世帯(一般世帯に占める割合1.4%)でしたが、平成27年には275,777世帯(同9.3%)に達し、30年間で約11倍に増加しました。高齢単身世帯の割合は、調査を重ねるごとに上昇を続けています。

「日本の世帯数の将来推計」によると、県内の高齢単身世帯は今後も増加を続け、令和22年(2040年)には48万1千世帯(同16.1%)に達すると見込まれています。

注) 昭和60年は、60歳以上の人一人のみの世帯及び60歳以上の人一人と未婚の18歳未満の者のみから成る世帯の集計値。

資料: 「国勢調査」総務省統計局 「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」国立社会保障・人口問題研究所



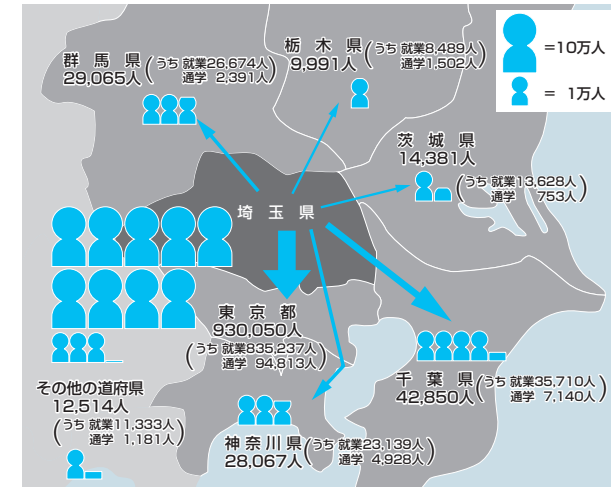
# 9 昼間人口

単位	*1 昼間人口		*2 昼夜間人口比率		*3 流入人口		*4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	127,094,745		100.0		5,768,185		5,768,185	
北海道	5,378,786	7	99.9	17	6,653	42	9,636	38
青森県	1,306,283	30	99.8	24	6,954	41	8,951	42
岩手県	1,276,705	31	99.8	28	11,650	30	14,530	28
宮城県	2,339,786	14	100.3	5	29,876	20	24,021	22
秋田県	1,020,642	38	99.8	31	3,147	45	5,625	45
山形県	1,120,365	35	99.7	32	6,444	43	9,982	35
福島県	1,917,815	21	100.2	10	24,987	22	21,116	25
茨城県	2,842,851	12	97.5	40	85,913	9	170,469	8
栃木県	1,955,198	18	99.0	37	58,494	12	76,607	13
群馬県	1,969,764	17	99.8	25	61,373	11	64,714	16
埼玉県	6,456,452	5	88.9	47	261,155	4	1,066,918	2
千葉県	5,582,241	6	89.7	46	190,214	7	828,177	3
東京都	15,920,405	1	117.8	1	2,887,068	1	493,631	4
神奈川県	8,322,926	3	91.2	44	324,012	3	1,121,858	1
新潟県	2,302,236	15	99.9	21	8,031	39	10,059	34
富山県	1,063,834	37	99.8	30	8,929	37	11,421	31
石川県	1,156,536	34	100.2	8	13,864	26	11,343	32
福井県	786,736	43	100.0	15	7,892	40	7,892	44
山梨県	828,495	42	99.2	36	11,734	29	18,192	26
長野県	2,094,051	16	99.8	29	10,906	31	15,604	27
岐阜県	1,952,630	19	96.1	42	50,611	14	129,708	10
静岡県	3,692,336	10	99.8	26	37,414	17	45,428	17
愛知県	7,586,294	4	101.4	4	199,397	6	96,342	11
三重県	1,784,775	22	98.3	38	33,800	19	64,787	15
滋賀県	1,363,716	29	96.5	41	46,369	15	94,956	12
京都府	2,656,353	13	101.8	3	201,931	5	157,555	9
大阪府	9,224,306	2	104.4	2	663,988	2	278,110	6
兵庫県	5,294,074	8	95.7	43	142,153	8	381,168	5
奈良県	1,228,426	32	90.0	45	55,402	13	192,546	7
和歌山県	946,387	40	98.2	39	18,898	23	36,487	19
鳥取県	572,678	47	99.9	23	9,004	36	9,786	37
島根県	694,770	46	100.1	12	9,829	32	9,397	39
岡山県	1,921,822	20	100.0	13	26,215	21	26,174	21
広島県	2,850,087	11	100.2	9	35,595	18	29,580	20
山口県	1,399,109	26	99.6	34	16,272	24	21,707	24
徳島県	752,919	44	99.6	33	5,118	44	7,942	43
香川県	978,511	39	100.2	7	12,117	27	9,875	36
愛媛県	1,385,392	27	100.0	14	9,175	35	9,034	40
高知県	727,644	45	99.9	20	3,032	46	3,642	46
福岡県	5,105,438	9	100.1	11	76,472	10	72,565	14
佐賀県	834,871	41	100.2	6	40,604	16	38,767	18
長崎県	1,374,210	28	99.8	27	9,271	34	12,255	30
熊本県	1,777,292	23	99.5	35	14,465	25	23,272	23
大分県	1,165,668	33	99.9	18	11,894	28	12,524	29
宮崎県	1,103,434	36	99.9	19	8,373	38	9,006	41
鹿児島県	1,646,386	24	99.9	22	9,331	33	11,195	33
沖縄県	1,433,110	25	100.0	16	2,159	47	2,620	47

資料出所 \*1～4「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期  
平成27年10月1日 5年

# 県外で従業する就業者及び通学者数(平成27年10月1日現在)



## 全国で最も低い昼夜間人口比率

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成22年)より82,963人増加して6,456,452人(増加率1.3%)で、前回に引き続き全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,266,534人でした。

昼夜間人口比率は88.9で、前回調査より0.3ポイント上昇したものの、前回に引き続き全国で最も低い比率でした。

## 県外で従業する就業者・通学者数は全国第2位

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,858,637人で、そのうち県外へ就業・通学している者(流出人口)は1,066,918人で、全国第2位でした。

県外への就業者・通学者は、東京都への930,050人が最多でしたが、前回調査(平成22年)より10,552人減少しました。次いで千葉県への42,850人、群馬県への29,065人の順でした。

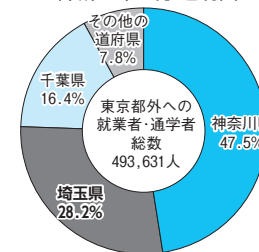
一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は261,155人で、全国第4位でした。

県外からの就業者・通学者は、東京都からの139,434人が最も多く、次いで千葉県からの41,286人、群馬県からの27,766人の順でした。

- 常住人口 調査時に普段住んでいる場所における人口で、夜間人口とも呼ばれる。
- 昼間人口 常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む)による流入人口及び流出人口を加減した人口。
- 昼夜間人口比率 常住人口を100とした場合の昼間人口の割合。

## ～「埼玉都民」と東京都民の就業者・通学者～

### ◆東京都民の道府県別就業・通学先構成比◆ (平成27年10月1日現在)



埼玉県から東京都内へ就業・通学するいわゆる「埼玉都民」は930,050人(就業835,237人、通学94,813人)で、埼玉県外への就業者・通学者に占める「埼玉都民」の割合は87.2%と最も高くなっています。

一方、東京都民の埼玉県への就業者・通学者は、139,434人(就業122,364人、通学17,070人)で、神奈川県への234,344人に次いで2番目に多くなっています。

注) 15歳以上  
資料:「国勢調査」総務省統計局



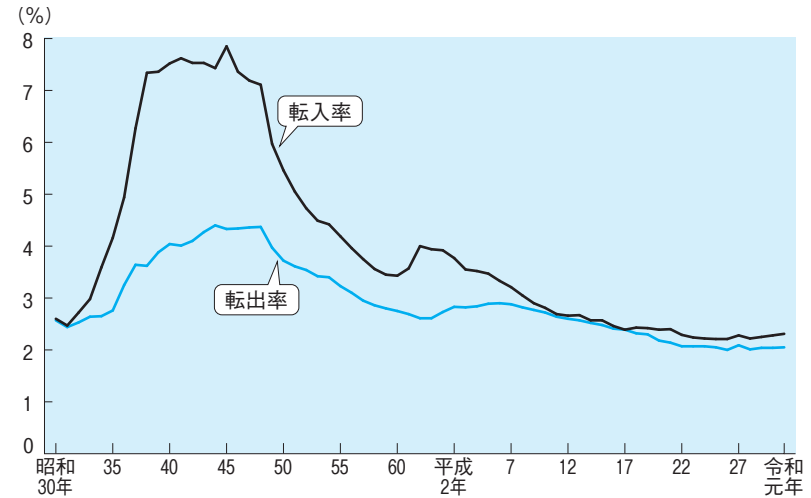
# 10 転入・転出

単位	*1 他都道府県からの 転入者数		*2 他都道府県への 転出者数		*3 転入超過数		*4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2,568,086		2,568,086		-		-	
北海道	52,570	12	58,138	12	△ 5,568	36	△ 0.11	12
青森県	17,396	36	23,440	30	△ 6,044	39	△ 0.48	46
岩手県	17,682	35	22,208	32	△ 4,526	35	△ 0.37	40
宮城県	47,367	14	49,350	14	△ 1,983	14	△ 0.09	10
秋田県	11,205	42	15,103	41	△ 3,898	28	△ 0.40	43
山形県	13,173	40	17,324	38	△ 4,151	32	△ 0.39	42
福島県	25,853	25	32,638	22	△ 6,785	43	△ 0.37	40
茨城県	52,816	11	60,311	11	△ 7,495	46	△ 0.26	24
栃木県	36,313	15	42,088	15	△ 5,775	37	△ 0.30	32
群馬県	33,927	16	36,135	18	△ 2,208	15	△ 0.11	12
埼玉県	193,481	3	166,827	4	26,654	3	0.36	2
千葉県	165,140	5	155,602	5	9,538	4	0.15	4
東京都	466,849	1	383,867	1	82,982	1	0.60	1
神奈川県	237,890	2	208,281	2	29,609	2	0.32	3
新潟県	22,556	28	29,781	24	△ 7,225	44	△ 0.32	33
富山県	13,595	39	15,921	40	△ 2,326	16	△ 0.22	19
石川県	19,261	30	21,863	34	△ 2,602	18	△ 0.23	22
福井県	9,779	44	13,115	43	△ 3,336	23	△ 0.43	44
山梨県	14,087	38	17,020	39	△ 2,933	21	△ 0.36	38
長野県	28,486	23	32,792	21	△ 4,306	34	△ 0.21	17
岐阜県	31,733	17	38,498	16	△ 6,765	42	△ 0.34	35
静岡県	58,616	10	64,745	9	△ 6,129	40	△ 0.17	15
愛知県	129,384	6	131,315	6	△ 1,931	12	△ 0.03	9
三重県	31,578	18	37,899	17	△ 6,321	41	△ 0.35	36
滋賀県	30,457	19	29,378	25	1,079	7	0.08	6
京都府	58,657	9	61,345	10	△ 2,688	20	△ 0.10	11
大阪府	175,702	4	167,638	3	8,064	5	0.09	5
兵庫県	94,648	8	100,686	8	△ 6,038	38	△ 0.11	12
奈良県	24,102	26	27,537	28	△ 3,435	26	△ 0.26	24
和歌山県	11,562	41	14,938	42	△ 3,376	25	△ 0.36	38
鳥取県	8,725	47	10,241	47	△ 1,516	9	△ 0.27	27
島根県	10,946	43	12,917	44	△ 1,971	13	△ 0.29	30
岡山県	30,283	20	34,297	19	△ 4,014	30	△ 0.21	17
広島県	48,017	13	56,035	13	△ 8,018	47	△ 0.29	30
山口県	23,300	27	26,959	29	△ 3,659	27	△ 0.27	27
徳島県	9,387	45	12,744	45	△ 3,357	24	△ 0.46	45
香川県	17,792	34	19,469	36	△ 1,677	10	△ 0.18	16
愛媛県	18,093	33	22,398	31	△ 4,305	33	△ 0.32	33
高知県	9,109	46	11,567	46	△ 2,458	17	△ 0.35	36
福岡県	105,868	7	102,943	7	2,925	6	0.06	7
佐賀県	16,479	37	18,233	37	△ 1,754	11	△ 0.22	19
長崎県	21,942	29	29,251	26	△ 7,309	45	△ 0.55	47
熊本県	28,907	22	32,807	20	△ 3,900	29	△ 0.22	19
大分県	19,121	31	22,145	33	△ 3,024	22	△ 0.27	27
宮崎県	18,431	32	21,066	35	△ 2,635	19	△ 0.25	23
鹿児島県	26,904	24	31,009	23	△ 4,105	31	△ 0.26	24
沖縄県	28,917	21	28,222	27	695	8	0.05	8

資料出所 \*1～4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

調査時点又は期間 令和元年 調査周期 毎年

# 転入率と転出率の推移(日本人移動者)



資料:「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

## 転入者数、転入超過数は全国第3位、転入超過率は全国第2位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、令和元年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数(外国人を含む)は、前年より4,712人増加して193,481人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く72,989人、次いで千葉県から17,215人、神奈川県から16,114人の順でした。他都道府県への転出者数(外国人を含む)は、前年より2,710人増加して166,827人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く66,561人、次いで神奈川県へ16,909人、千葉県へ16,177人の順でした。

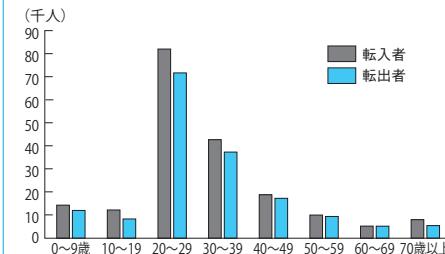
また、令和元年に転入超過となったのは8都府県で、本県の転入超過数は26,645人で全国第3位、転入超過率は0.36%で全国第2位でした。

日本人移動者の転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の方が多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者の方が多い転出超過となりました。しかし、平成18年からは再び転入超過となっています。

転入超過率、転入(転出)率 全国及び都道府県の人口に対するそれぞれの移動に係る数の百分比。

※表\*3,4の△は、転出超過を示します。

## ～年代別の転入、転出者数～



令和元年の本県への転入者数と本県からの転出者数を年代別にみると、転入者・転出者(外国人を含む)ともに20歳代(転入者82,018人、転出者71,682人)が最も多く、次いで30歳代(転入者42,711人、転出者37,348人)が続いています。

20歳代と30歳代を合わせると、転入者・転出者ともに全体の6割を超えています。

資料:「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局





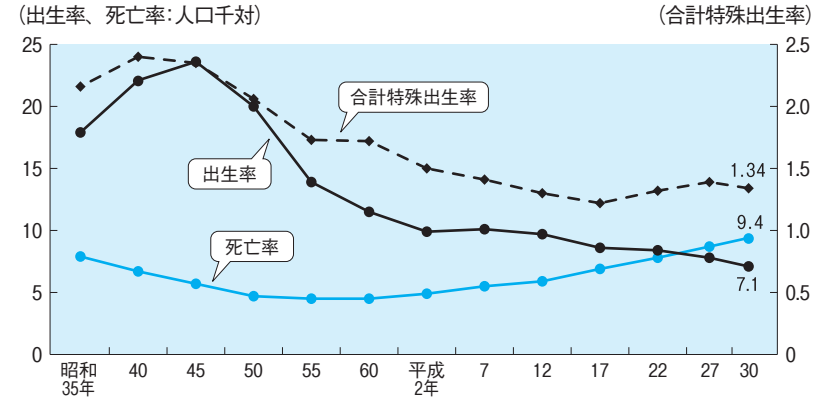
# 11 出生

# 出生率・合計特殊出生率及び死亡率

単位	*1 出生数		*2 出生率 (人口千対)		*3 自然増減率 (人口千対)		*4 合計特殊出生率	
	人	順位	—	順位	—	順位	—	順位
全 国	865,239		7.0		△ 4.2		1.36	
北海道	31,020	9	6.0	44	△ 6.6	34	1.24	45
青森県	7,170	34	5.8	45	△ 9.1	46	1.38	36
岩手県	6,974	35	5.7	46	△ 8.9	45	1.35	37
宮城県	14,947	14	6.5	30	△ 4.5	14	1.23	46
秋田県	4,696	43	4.9	47	△ 11.5	47	1.33	38
山形県	6,401	38	6.0	43	△ 8.7	43	1.40	32
福島県	11,552	25	6.3	39	△ 7.3	36	1.47	19
茨城県	18,004	12	6.4	34	△ 5.5	23	1.39	33
栃木県	12,608	21	6.6	27	△ 5.0	19	1.39	34
群馬県	11,901	23	6.3	37	△ 6.0	27	1.40	31
埼玉県	48,298	5	6.7	23	△ 3.0	7	1.27	43
千葉県	40,799	6	6.6	26	△ 3.5	9	1.28	41
東京都	101,818	1	7.6	7	△ 1.4	2	1.15	47
神奈川県	63,035	2	7.0	18	△ 2.3	5	1.28	42
新潟県	13,640	17	6.2	41	△ 7.7	39	1.38	35
富山県	6,604	37	6.4	33	△ 6.4	33	1.53	14
石川県	7,808	32	7.0	19	△ 4.5	14	1.46	22
福井県	5,307	41	7.0	16	△ 5.7	25	1.56	11
山梨県	5,193	42	6.5	32	△ 6.1	28	1.44	27
長野県	13,553	18	6.7	25	△ 6.2	30	1.57	10
岐阜県	12,776	20	6.6	29	△ 5.5	23	1.45	25
静岡県	23,457	10	6.6	28	△ 5.3	20	1.44	28
愛知県	57,145	4	7.8	3	△ 1.7	3	1.45	26
三重県	11,690	24	6.7	22	△ 5.3	20	1.47	16
滋賀県	10,627	26	7.7	6	△ 1.9	4	1.47	17
京都府	16,993	13	6.7	24	△ 4.0	11	1.25	44
大阪府	62,557	3	7.3	13	△ 3.2	8	1.31	40
兵庫県	38,043	8	7.1	15	△ 3.7	10	1.41	30
奈良県	8,323	30	6.3	38	△ 4.8	17	1.31	39
和歌山県	5,869	40	6.4	35	△ 7.6	38	1.46	21
鳥取県	3,988	47	7.2	14	△ 6.6	34	1.63	6
島根県	4,594	44	6.9	20	△ 7.7	39	1.68	3
岡山県	13,695	16	7.3	10	△ 4.4	13	1.47	18
広島県	20,034	11	7.3	12	△ 4.1	12	1.49	15
山口県	8,771	28	6.5	31	△ 7.7	39	1.56	12
徳島県	4,554	45	6.3	40	△ 7.7	39	1.46	24
香川県	6,631	36	7.0	17	△ 5.8	26	1.59	9
愛媛県	8,446	29	6.4	36	△ 7.4	37	1.46	23
高知県	4,270	46	6.2	42	△ 8.7	43	1.47	20
福岡県	39,754	7	7.9	2	△ 2.8	6	1.44	29
佐賀県	6,231	39	7.7	4	△ 4.6	16	1.64	5
長崎県	9,585	27	7.3	11	△ 6.1	28	1.66	4
熊本県	13,305	19	7.7	5	△ 4.8	17	1.60	8
大分県	7,624	33	6.8	21	△ 6.2	30	1.53	13
宮崎県	8,043	31	7.6	8	△ 5.4	22	1.73	2
鹿児島県	11,977	22	7.5	9	△ 6.2	30	1.63	7
沖縄県	14,902	15	10.4	1	1.7	1	1.82	1

資料出所  
\*1～4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

調査時点又は期間  
令和元年  
調査周期  
毎年



資料:「平成30年 埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課

### 出生数は全国第5位

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、令和元年の出生数は前年より2,943人減少して48,298人(男24,799人、女23,499人)で、全国第5位でした。推移をみると、昭和48年の106,008人をピークとして、その後増減を繰り返しながら長期的には減少傾向が続いています。

また、出生率は6.7で、前年より0.4ポイント低下しました。推移をみると、第2次ベビーブームであった昭和46年の24.0以降低下を続け、平成2年には10.0を下回りました。その後は10.0を上回る程度で推移していましたが、平成9年に再び10.0を下回って以降、概ね低下傾向にあります。

### 自然増減率、合計特殊出生率ともに低下

自然増減率は、前年より0.7ポイント低下して△3.0となり、全国順位は第7位でした。平成24年にマイナスに転じて以降、この傾向が続いています。

合計特殊出生率も前年より0.07ポイント低下し、1.27でした。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

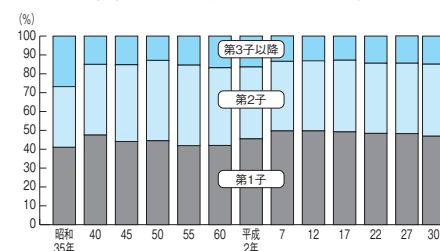
自然増減率 自然増減数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供数に相当します。

※表\*1～4の全国値は、住所が外国・不詳の者を含みます。

※表\*2～4の比率算出に用いた日本人人口は、令和元年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

### ～出生順位別出生数の割合の推移～



注)昭和40年以前の「第3子以降」には、出生順位不詳を含む。  
資料:「平成30年 埼玉県の人口動態概況(確定数)」  
県保健医療政策課

年間総出生数に対する出生順位別出生数の割合の推移をみると、第1子の割合は昭和60年から平成6年まで上昇を続け、平成7年以降は上昇と低下を繰り返しています。

第2子の割合は昭和55年をピークに、その後上昇と低下を繰り返しています。

第3子以降の割合は昭和35年は全体の3割近くを占めていたものの、平成19年以降は14%台で推移しています。

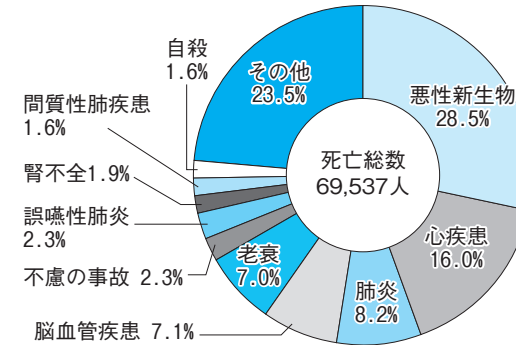




# 12 死亡

## 死因別死亡数構成比(令和元年)

単位	*1 死亡数		*2 死亡率 (人口千対)		*3 死亡数 (悪性新生物)		*4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1,381,093		11.2		376,425		207,714	
北海道	65,498	6	12.6	23	19,425	6	9,578	6
青森県	18,424	26	14.9	3	5,125	25	2,805	28
岩手県	17,826	28	14.6	5	4,471	29	2,902	27
宮城県	25,202	16	11.0	36	6,822	15	3,973	16
秋田県	15,784	30	16.4	1	4,158	30	2,046	35
山形県	15,719	31	14.7	4	3,952	32	2,423	31
福島県	25,004	17	13.7	14	6,233	17	4,000	15
茨城県	33,440	11	11.9	29	8,874	11	5,035	11
栃木県	22,138	20	11.6	32	5,732	20	3,532	18
群馬県	23,254	19	12.3	26	5,998	19	3,511	20
埼玉県	69,537	5	9.7	42	19,791	4	11,117	4
千葉県	62,004	7	10.1	41	17,440	7	9,779	5
東京都	120,870	1	9.0	46	34,082	1	18,473	1
神奈川県	83,968	3	9.3	45	23,974	3	12,488	3
新潟県	30,572	13	13.9	10	7,957	13	4,171	14
富山県	13,207	36	12.9	19	3,492	37	1,781	39
石川県	12,900	37	11.5	33	3,525	36	1,995	38
福井県	9,593	46	12.7	21	2,350	46	1,550	42
山梨県	10,083	43	12.6	22	2,547	43	1,446	44
長野県	26,041	15	12.9	18	6,302	16	3,886	17
岐阜県	23,417	18	12.1	27	6,171	18	3,475	21
静岡県	42,190	10	11.9	30	10,880	10	5,939	10
愛知県	69,932	4	9.6	43	19,549	5	8,724	7
三重県	20,811	24	12.0	28	5,266	23	3,118	26
滋賀県	13,221	35	9.5	44	3,646	34	2,005	37
京都府	27,028	14	10.7	39	7,669	14	4,489	13
大阪府	90,410	2	10.5	40	26,438	2	14,473	2
兵庫県	57,938	8	10.8	37	16,494	8	8,677	8
奈良県	14,660	32	11.1	35	4,124	31	2,433	30
和歌山県	12,837	38	14.0	9	3,305	38	2,278	32
鳥取県	7,605	47	13.8	11	2,056	47	1,004	47
島根県	9,710	45	14.6	6	2,481	45	1,376	46
岡山県	21,944	21	11.8	31	5,691	21	3,526	19
広島県	31,237	12	11.3	34	8,292	12	5,014	12
山口県	19,081	25	14.2	7	4,907	26	3,192	25
徳島県	10,126	42	14.0	8	2,489	44	1,475	43
香川県	12,148	40	12.9	20	2,968	40	2,023	36
愛媛県	18,281	27	13.8	12	4,549	28	3,250	24
高知県	10,317	41	14.9	2	2,561	42	1,646	41
福岡県	54,099	9	10.7	38	15,705	9	6,255	9
佐賀県	9,967	44	12.3	25	2,721	41	1,394	45
長崎県	17,612	29	13.4	15	4,770	27	2,662	29
熊本県	21,670	23	12.5	24	5,543	22	3,259	23
大分県	14,614	33	13.0	16	3,666	33	2,146	34
宮崎県	13,788	34	12.9	17	3,593	35	2,263	33
鹿児島県	21,834	22	13.7	13	5,250	24	3,304	22
沖縄県	12,509	39	8.7	47	3,271	39	1,716	40



資料:「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

### 死亡数、死亡率ともに増加上昇

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、令和元年の死亡数は前年より1,811人増加して、69,537人(男性38,144人、女性31,393人)で全国第5位でした。

死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じています。令和元年は、前年より0.3ポイント上昇して9.7でした。

### 死因第1位は悪性新生物

死亡数を死因別にみると、悪性新生物(いわゆる「がん」)が19,791人(死亡総数の28.5%)と最も多く、次いで心疾患11,117人(同16.0%)、肺炎5,677人(同8.2%)、脳血管疾患4,966人(同7.1%)、老衰4,884人(同7.0%)、不慮の事故1,602人(同2.3%)、誤嚥性肺炎1,571人(同2.3%)、腎不全1,292人(同1.9%)、間質性肺疾患1,102人(同1.6%)、自殺1,078人(同1.6%)の順でした。

また、死因順位(第10位まで)別に年齢階級別の死亡数をみると、10歳未満は悪性新生物と不慮の事故、10～30歳代は自殺、40～80歳代は悪性新生物、90歳代は心疾患、100歳以上は老衰が最も多くなっています。

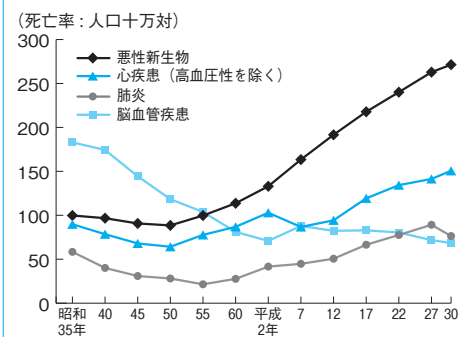
死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※表\*2の比率算出に用いた人口は、令和元年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)によるものです。

※表\*1～4の全国の数値は、住所が外国・不詳の者を含みます。

※表\*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

### ～主な死因別死亡率の推移～



主な死因別に死亡率(人口十萬対)の推移をみると、悪性新生物(いわゆる「がん」)は昭和55年以降上昇が続き、昭和56年からは死因順位第1位となっています。心疾患は昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も緩やかな上昇を続けています。脳血管疾患は昭和36年をピークに低下し、平成23年には肺炎にかわり第4位となっています。

注)平成7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向の急激な変化ではなく、原因分類及び死亡診断書の改正によるものと考えられます。



資料出所 \*1～4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

調査時点又は期間 令和元年 調査周期 毎年

# 13 婚姻・離婚

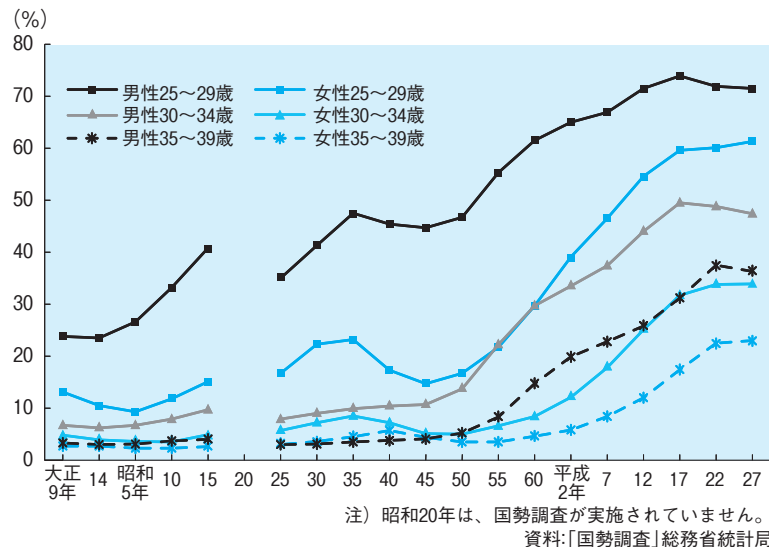
単位	*1 婚姻率 (人口千対)		*2 離婚率 (人口千対)		*3 平均初婚年齢(夫)		*4 平均初婚年齢(妻)	
	—	順位	—	順位	歳	順位	歳	順位
	全 国	4.8		1.69		31.2		29.6
北海道	4.5	16	1.89	5	30.8	25	29.4	14
青森県	3.7	45	1.62	29	30.9	18	29.3	21
岩手県	3.7	46	1.44	41	30.9	18	29.2	27
宮城県	4.4	21	1.66	20	31.0	15	29.4	14
秋田県	3.3	47	1.33	45	31.2	9	29.7	4
山形県	3.8	44	1.34	44	30.9	18	29.0	37
福島県	4.1	37	1.63	27	30.9	18	29.0	37
茨城県	4.4	26	1.66	19	31.3	6	29.4	14
栃木県	4.5	15	1.67	17	31.1	12	29.4	14
群馬県	4.4	25	1.67	18	31.2	9	29.3	21
埼玉県	4.7	8	1.68	16	31.7	3	29.7	4
千葉県	4.7	11	1.64	26	31.5	4	29.7	4
東京都	6.4	1	1.69	14	32.3	1	30.5	1
神奈川県	5.1	6	1.65	21	31.9	2	30.0	2
新潟県	4.0	41	1.28	47	31.0	15	29.4	14
富山県	4.1	36	1.29	46	30.8	25	29.1	31
石川県	4.4	20	1.36	43	30.7	29	29.1	31
福井県	4.4	23	1.45	40	30.8	25	29.2	27
山梨県	4.6	13	1.70	13	31.2	9	29.4	14
長野県	4.4	24	1.48	39	31.3	6	29.5	9
岐阜県	4.2	31	1.55	36	30.8	25	28.9	42
静岡県	4.5	19	1.64	25	31.1	12	29.3	21
愛知県	5.5	3	1.69	15	31.0	15	29.1	31
三重県	4.5	18	1.65	22	30.6	33	28.9	42
滋賀県	4.6	12	1.51	38	30.7	29	29.2	27
京都府	4.5	14	1.59	34	31.3	6	29.8	3
大阪府	5.4	4	1.89	4	31.1	12	29.6	8
兵庫県	4.7	10	1.70	12	30.9	18	29.5	9
奈良県	4.0	40	1.53	37	31.4	5	29.7	4
和歌山県	4.2	32	1.74	9	30.5	38	29.0	37
鳥取県	4.3	29	1.61	32	30.6	33	29.2	27
島根県	3.9	42	1.42	42	30.3	43	29.0	37
岡山県	4.7	9	1.64	24	30.2	46	28.8	47
広島県	4.8	7	1.62	28	30.5	38	29.1	31
山口県	4.2	34	1.60	33	30.3	43	28.9	42
徳島県	4.0	39	1.55	35	30.6	33	29.3	21
香川県	4.5	17	1.77	8	30.4	40	28.9	42
愛媛県	4.0	38	1.62	30	30.4	40	29.1	31
高知県	3.8	43	1.79	7	30.9	18	29.5	9
福岡県	5.1	5	1.94	2	30.9	18	29.5	9
佐賀県	4.2	33	1.64	23	30.4	40	29.0	37
長崎県	4.2	35	1.61	31	30.3	43	29.1	31
熊本県	4.4	27	1.70	11	30.6	33	29.3	21
大分県	4.4	22	1.73	10	30.7	29	29.4	14
宮崎県	4.4	28	1.92	3	30.1	47	28.9	42
鹿児島県	4.3	30	1.82	6	30.7	29	29.5	9
沖縄県	5.6	2	2.52	1	30.6	33	29.3	21

資料出所  
\*1～4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

調査時点又は期間  
令和元年

調査周期  
毎年

## 年齢階級別未婚率の推移(各年10月1日現在)



### 婚姻件数、離婚件数ともに増加

「人口動態統計(確定数)の概況」によると、令和元年の婚姻件数は、前年より926組増加して33,671組で、婚姻率は前年より0.1ポイント上昇して4.7でした。  
離婚件数も、前年より351組増加して12,067組となり、離婚率は前年より0.05ポイント上昇して1.68でした。

なお、平均初婚年齢は、夫が前年より0.2歳上昇して31.7歳、妻が前年より0.1歳上昇して29.7歳でした。

### 未婚率の動き緩やかに

「国勢調査」によると、25～39歳男女の年齢階級(5歳区分)別未婚率は、どの年齢階級でも昭和50年頃から大きく上昇し始め、平成12年には25～29歳の男性の未婚率が70%を超え、平成22年には25～29歳の女性の未婚率が60%を超えました。

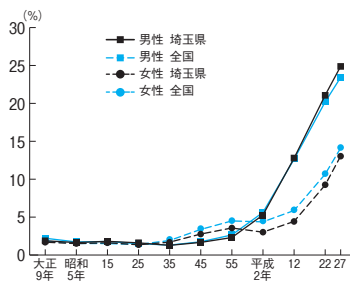
しかし、近年は上昇幅が縮小または低下傾向となるなど、緩やかな動きに転じています。

### 婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

※表\*1,2の比率算出に用いた日本人人口は、令和元年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)によるものです。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ～50歳時未婚割合の推移～



本県の平成27年の50歳時未婚割合(45～49歳と50～54歳未婚率の平均値)は、男女とも前回調査(平成22年)より3.81ポイント上昇し、男性24.83%、女性12.99%でした。50歳時未婚の人は、男性で約4人に1人、女性で約8人に1人の割合となります。

都道府県別では、男性は沖縄県(26.20%)が最も高く、岩手県(26.16%)、東京都(26.06%)と続いています。女性は東京都(19.20%)が最も高く、北海道(17.22%)、大阪府(16.50%)と続いています。

本県は、男性が全国第8位、女性が全国第24位でした。



## ◆国勢調査による世帯数及び人口の推移(各年10月1日現在)◆

年次	世帯数	人 口 (人)				
		総 数	年 齢 3 区 分			
			年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	
大正 9年	237,949	1,319,533	494,776	752,892	71,865	
14	253,261	1,394,461	532,213	787,869	74,379	
昭和 5年	265,465	1,459,172	555,794	828,399	74,979	
10	277,548	1,528,854	586,089	867,178	75,587	
15	290,509	1,607,927	599,800	929,905	78,220	
20	…	2,047,261	774,175	1,170,912	102,174	
25	398,779	2,146,445	781,127	1,257,941	107,205	
30	423,902	2,262,623	779,877	1,362,837	119,900	
35	492,731	2,430,871	752,024	1,545,841	133,006	
40	696,821	3,014,983	790,961	2,066,337	157,685	
45	993,079	3,866,472	1,002,863	2,665,020	198,589	
50	1,323,713	4,821,340	1,340,136	3,223,138	256,014	
55	1,584,655	5,420,480	1,458,421	3,624,550	333,874	
60	1,751,372	5,863,678	1,380,180	4,060,573	420,099	
平成 2年	2,044,234	6,405,319	1,196,946	4,660,202	530,539	
7	2,289,138	6,759,311	1,090,395	4,976,945	681,172	
12	2,482,374	6,938,006	1,024,787	5,011,202	889,243	
17	2,650,115	7,054,243	986,361	4,892,253	1,157,006	
22	2,841,595	7,194,556	953,668	4,749,108	1,464,860	
27	2,971,659	7,266,534	910,805	4,507,174	1,788,735	

注) 人口の総数には、年齢「不詳」を含む年があります。昭和20年は、人口調査(11月1日現在)による数値です。  
資料:「国勢調査」総務省統計局

国勢調査による平成27年の世帯数と人口を大正9年(95年前)と比べると、世帯数は約12.5倍、人口は約5.5倍になっています。

また、年齢3区分別人口をみると、年少人口は昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。生産年齢人口も、平成12年をピークに減少し始めました。逆に、老年人口は緩やかに増加していたものが平成に入り急増し、平成17年にはついに年少人口を逆転しました。

## ◆人口重心の移動(昭和30年～平成27年)◆



平成27年国勢調査によると埼玉県の人口重心は、さいたま市西区指扇付近(東経139度34分、北緯35度55分)にあります。

10年毎にみると、昭和30年に川島町北東部にあった人口重心は、上尾市南西部を経てさいたま市北西部に至り、ここ60年で南東方向に約8.8km移動しました。

資料:「国勢調査」総務省統計局

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持つと仮定し、その地域内の人口が全体として平衡を保つことのできる点をいいます。